

学年	高校 1 年	教科	国語	科目	言語文化	単位数	2
教科書名	高等学校 言語文化 (数研出版)			副教材名	読んで見て覚える 重要古語単語 315 三訂版 (桐原書店) 新精選 古典文法 (東京書籍) 精説 漢文 改訂版 (いっぴずな書店) 基本セミナー 漢文入門 (浜島書店)		
コース・クラス	中高一貫						

I. 目標

- 1 国語を適切に表現し、的確に理解する能力を養成し、伝え合う力を高める。
- 2 思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深める。
- 3 国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

II. 授業のねらい

- 1 国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る。
- 2 目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めること。
- 3 相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めること。
- 4 文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させること。
- 5 伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けること。

III. 授業の進め方

- 1 文章内容の理解を主とし、発問形式による教授方法やグループ学習によって学習を進める。
- 2 図説等の副教材を適宜活用し、確認テストを実施する。
- 3 古文では、『新精選 古典文法』を活用して文法事項を学習し、漢文では、『精説 漢文』を使用する。
- 4 「文芸コンクール」に向けての学習や準備も随時組み込む。

IV. 学習上の留意点

- 1 教科書の新しい単元に入る際は、予習として意味調べや漢字の書き取り、作品の通読を行うこと。
- 2 授業中には、板書や必要な情報をノートに書くこと。
- 3 配られた資料は、ノートに貼るかファイリングをし、必ず保存管理すること。
- 4 毎時教科書、ノート、副教材を授業前に準備し、机の上に置いておくこと。

V. 定期試験 (状況によって変動する場合があります)

- ・一学期中間試験……古文基礎復習 (古典常識、歴史的仮名遣い、係り結び、用言、助動詞等の復習)
宇治拾遺物語「絵仏師良秀」「柿の下に仏現ずること」
故事「漁夫之利」「矛盾」「狐借虎威」「朝三暮四」初見問題
- ・一学期期末試験……竹取物語「なよ竹のかぐや姫」「天人の迎へ」「ありがたきもの」「雪のいと高う降りたるを」
初見問題 (敬語及び助詞の復習)
史伝「管鮑之交」「先従隗始」「鶏口牛後」
- ・二学期中間試験……徒然草 (「つれづれなるままに」～「同じ心ならん人と」)
伊勢物語 (「芥川」～初見問題 (一学期の総復習))
漢詩 李白、王維、杜甫の詩 初見問題
- ・二学期期末試験……土佐日記 (「門出」から「帰京」) 平家物語 「祇園精舎」「木曾の最期」(識別一)
論語、孟子 初見問題
- ・学年末試験 ……おくのほそ道「序」「平泉」(識別二) 文章「雑説」「罷説」 初見問題

VI. 評価の方法

- 1 定期試験・進研模試・スタサポ・授業内容をしっかりと理解し、それを応用することができる。
- 2 小テスト…計画的に自学自習を行い、意欲的に小テストに臨むことができる。
- 3 提出物…積極的に授業に参加し、課題に対して期限を守り、真摯に取り組むことができる。

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目		評価方法	到達目標
一学期	4	・問題演習 (初見・説話)	・『宇治拾遺物語』 児のそら寝 1. 読解の基礎 2. 文法の基礎	・定期試験 ・進研模試 ・スタディサ プリ到達度テ スト ・小テスト ・提出物	説話文学の読み方 1. 説話の構造を理解する。 2. 背景的知識 3. 説話文学の特徴 故事の捉え方 1. 論理的に読む方法を知る。 2. 故事成語への知識を深める。 3. 中国史的背景を学ぶ。 4. 句法や熟語を学ぶ。
	5				
	6	・問題演習 (初見・)	・『故事』 1. 読解の基礎		
	7	・『竹取物語』 ・『史伝』 1. 漢文句法の復習 2. 熟語の研究			
二学期	9	・『徒然草』 『伊勢物語』 ・問題演習(初見)	・『伊勢物語』 東下り ・ ・『精説 漢文』 1. 漢文句法の応用 2. 四字熟語の研究 3. 修辞技巧の研究 ・問題演習(初見)	・定期試験 ・進研模試 ・スタディサ プリ到達度テ スト ・小テスト ・提出物	随筆の読み方 1. 随筆の構造を理解する。 2. 王朝文化と鎌倉文化の違いを学ぶ。 3. 兼好の無常観の独自性を理解する。 漢詩の読み方 1. 近体詩の基本的なルールを理解する。 2. 詩の形式ごとの特質を理解する。 3. 背景的な知識を学ぶ。 4. 情景と心情の組み合わせに留意して、内容を理解する方法を学ぶ。
	10				
	11	・『土佐日記』 『平家物語』 ・『論語』『孟子』 ・問題演習(初見)	・『徒然草』 1. 兼好の思想 2. 徒然草の特質 3. 論理の辿り方		
	12	・『精説 漢文』 1. 読解のための句法 2. 構成と修辞技法 3. 倒置や省略 ・問題演習(初見)			
三学期	1	・『おくのほそ道』 ・『文章』 ・問題演習(初見)	・『おくのほそ道』 ・古典事項 総復習 『文章』 1. 漢文古文の特質 2. 唐宋六大家の思想 3. 読解のための常識 ・問題演習(初見)	・定期試験 ・進研模試 ・小テスト ・提出物	
	2				

※ シラバスの内容については、理解度やその他の都合により変更することもあります。